

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 産業人材育成連携基盤構築事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111(内3671)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,442 千円 (前年度予算額：4,442 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,442	2,215	0	0	0	0	0	0	2,227
要求額	4,442	2,215	0	0	0	0	0	0	2,227
決定額	4,442	2,215	0	0	0	0	0	0	2,227

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

本県の基幹産業である製造業を中心としたモノづくり産業においては、慢性的な人手不足と熟練技能の円滑な継承が課題となっており、こうした中、モノづくり産業の活性化、高度化を促進するには、担い手の育成が必須であるため、階層別、対象者別の研修等を実施する。また、若年者の減少や技能離れが進む中、国内青年技能者の日本一の技能レベルを競う「技能五輪全国大会」を目指す青年技能者の支援を行うことにより、若手技能者の技能習得意欲や、技能レベルの向上、また技能尊重の気運の醸成を図る。

(2) 事業内容

産業人材育成の関係機関で構成する「産業人材育成連携推進協議会」の構成団体との連携等により、各機関が保有するノウハウやネットワーク、設備等を有効に活用して、県内モノづくり産業の担い手に必要なスキルアップを目的とした研修等を実施する。

<企業在職者のスキルアップ>

- *工場長塾 製造現場を預かる工場長クラスを対象とした研修
- *モノづくり女子塾 製造業の女性リーダークラスを対象とした研修
- *モノづくり女子塾基礎コース 製造業の女性を対象とした研修
- *青年技能者強化事業 技能五輪全国大会に出場予定の若手技能者に対する支援

<未来の産業人材育成>

- *社会人講師派遣合同交流会 工業高校等の生徒を対象とした技能向上実習

(3) 県負担・補助率の考え方

国 (1/2) 、県 (1/2) 【デジタル田園都市国家構想交付金充当予定】

(4) 類似事業の有無

みやぎ産業人材育成プラットフォーム (宮城県)

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	300	研修講師謝金
旅費	47	研修講師旅費、打ち合わせ旅費
需用費	1,918	研修材料費、コピー代
委託費	1,757	工場長塾、青年技能者強化事業
その他	420	会場借り上げ料、使用料、保険料、通信運搬費、会議費
合計	4,442	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の産業人材育成機関が相互に連携・協力し、各機関が保有する資源を活用しながら効率的・効果的な人材育成を推進し、モノづくり産業の振興を図ります。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (毎年度)	達成率
工場長塾修了者数		16人	20人	20人	20人	80%
モノづくり女子塾修了者数		29人	25人	25人	25人	116%
モノづくり女子塾(基礎コース)修了者数		17人	20人	20人	20人	85%
「社会人講師派遣合同交流会」参加者数		57人	60人	60人	60人	95%
「青年技能者強化事業」助成対象者数		12人	15人	15人	15人	80%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>モノづくり女子塾 11月開催、参加27人 工場長塾 11月～12月開催、参加18人 ※賢材塾、部門長塾、モノづくり女子塾(基礎コース)は休止(コロナ)</p> <p>○「社会人講師派遣合同交流会」： ものづくりコンテスト…10月～12月に実施。参加55人。 金型コンテスト…2月に報告書形式にて成果発表</p> <p>○「青年技能者強化事業」：参加14人（技能五輪全国大会出場選手）</p>
令和3年度	<p>モノづくり女子塾 11月開催、参加27人 工場長塾 11月～12月開催、参加18人 ※賢材塾、部門長塾、モノづくり女子塾(基礎コース)は休止(コロナ)</p> <p>○「社会人講師派遣合同交流会」： ものづくりコンテスト…10月～12月に実施。参加55人。 金型コンテスト…2月に報告書形式にて成果発表</p> <p>○「青年技能者強化事業」：参加14人（技能五輪全国大会出場選手）</p>
令和4年度	<p>モノづくり女子塾 9月開催、参加29人 工場長塾 9月～10月開催、参加16人 モノづくり女子塾(基礎コース)</p> <p>○「社会人講師派遣合同交流会」： ものづくりコンテスト…10月～12月に実施。参加57人。 金型コンテスト…2月に展示形式にて成果発表</p> <p>○「青年技能者強化事業」：参加12人（技能五輪全国大会出場選手）</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>中小企業の多くは、人材育成の必要性や重要性を認識しつつも、研修等に要するコストや時間等が限られていることなどから、企業単体で各階層の社員に応じた研修等を行うことが困難なため、ニーズに応じ、県内全域で人材育成の機会を提供していく必要がある。 モノづくり産業を支える若手技能者の育成、確保は重要であり、その養成・輩出の場である工業高校においては、産業界に必要な知識や技術を身に付け、高めていく必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	<p>参加者からの評価が高く、職場で活かすことができるとの声が多い。また、社員等を送り出す企業からの評価や期待も高い。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	<p>研修等の実施にあたっては、協議会の各構成団体との連携や協力を得ながら最適な実施方法で行っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 社会経済や産業構造の変化、モノづくり企業のニーズに応じ、効果的な研修を企画し、県内全域の中小事業者提供していく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 受講者や企業の意見・要望を踏まえ、研修テーマや講師、開催時期や開催場所の見直し等を図りながら、継続的に実施していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	